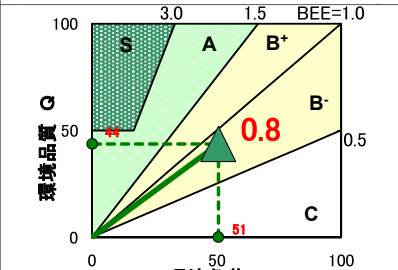
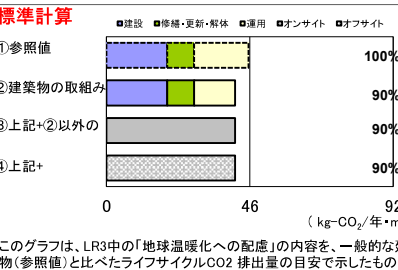
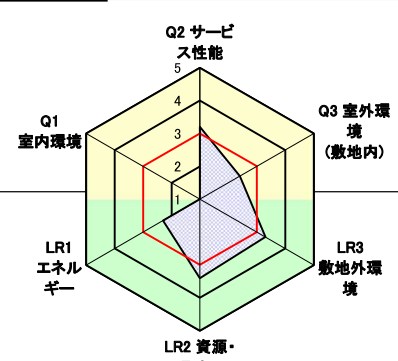
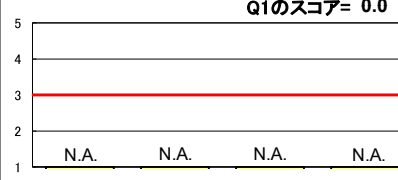
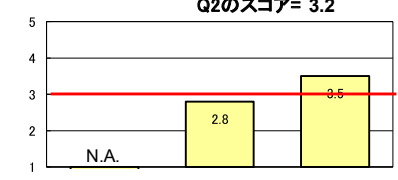
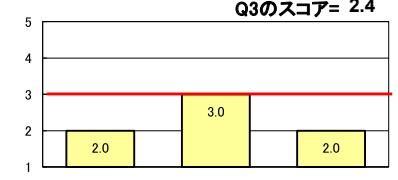
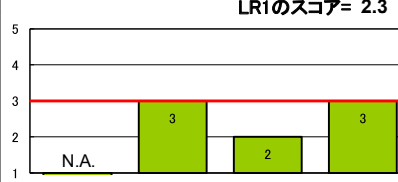
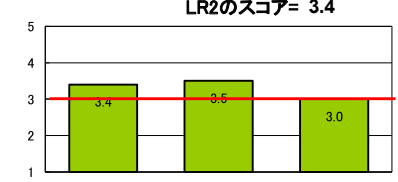
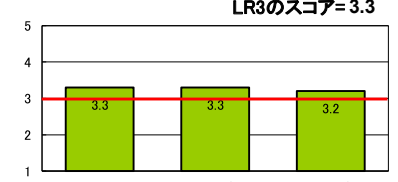


CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_準補版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	コープ自然派事業連合加古川新センター新築工事	階数	地上2F
建設地	兵庫県加古川市平岡町土山字ドウジ山192番2 他	構造	S造
用途地域	工業地域、防火地域法指定なし	平均居住人員	125 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年12月 予定	評価の実施日	2024年8月28日
敷地面積	16,986 m ²	作成者	高橋孝文
建築面積	7,132 m ²	確認日	2024年9月18日
延床面積	8,854 m ²	確認者	岸 健二

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)		2-3 大項目の評価(レーダーチャート)	
BEE = 0.8 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★ 		標準計算 30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆☆☆ ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ 			
2-4 中項目の評価(バーチャート)					
Q 環境品質					
Q1 室内環境		Q2 サービス性能		Q3 室外環境(敷地内)	
Q1のスコア= 0.0		Q2のスコア= 3.2		Q3のスコア= 2.4	
					
LR 環境負荷低減性					
LR1 エネルギー		LR2 資源・マテリアル		LR3 敷地外環境	
LR1のスコア= 2.3		LR2のスコア= 3.4		LR3のスコア= 3.3	
					
3 設計上の配慮事項					
総合 ライフサイクルCO2排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。				その他 特になし。	
Q1 室内環境 評価対象外。		Q2 サービス性能 [壁長さ比率] < 0.1 床荷重: 3900N/m ² 。		Q3 室外環境(敷地内) 特になし。	
LR1 エネルギー 特になし。		LR2 資源・マテリアル 節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 ビニル系床材、吸音材料・防音防振マット、断熱材。		LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO2排出率90% 燃焼機器を使用しません。 「光害対策ガイドライン」の項目の過半を満たす。また、「広告物照明の扱い」の全ての配慮事項を満たしている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される